



# 議会だより



## 目次

議案審議報告 .....	p2~3
常任委員会報告 .....	p4
一般質問 .....	p5~9
議会の動き／編集後記 .....	p10

感謝と願いを焚き上げる（茂田井）

# 平成28年 第4回定例会

平成28年第4回定例会は、12月2日から13日までの会期で開かれた。条例・補正予算・議決事件を審査し可決した。

## 条例の制定

◇立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例  
マイナンバーカードを利用してコンビニの端末機により印鑑登録証明書の交付を受けることができるようにする改正。

◇一般職の給与に関する条例等の一部を改正する条例  
長野県人事委員会勧告に準じ、給与・期末手当等の支給率を改正。

## 一部事務組合規約改正

◇川西保健衛生施設組合規約の変更  
東御市のし尿等の受入れについて、旧北御牧村地域に限られていたものを削除。

## 議決事件

◇佐久地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定締結について

◇上田地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定締結について  
各定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組等の変更を行うもの。

◇財産の取得について立科町地域情報通信機器1285万2千円。

## 補正予算

◇一般会計

(補正第6号)  
8661万8千円を減額し、総額を46億9018万6千円とするもの。

ふるさと寄附金事業経費7122万円減。

町有地内地上物解体撤去、アスベスト除去工事費1179万7千円。

担い手確保・経営強化支援補助金837万3千円。

町道小学校線工事費3440万円減。

地域高校海外派遣事業108万円減。  
理科教育設備費75万5千円。

◇国民健康保険特別会計(補正第2号)  
共同事業拠出金294万9千円を予備費充当。

◇水道事業会計(補正第3号)  
時間外手当、退職手当組合負担金に係る補正。

◇索道事業特別会計(補正第3号)  
国際スキー場50周年、2in1スキー場40周年記念イベント経費40万円。

◇一般会計(補正第7号)

◇介護保険特別会計(補正第2号)

◇下水道事業特別会計(補正第3号)

◇水道事業会計(補正第4号)

◇索道事業特別会計(補正第4号)

以上5会計の補正は長野県人事委員会勧告に準じた人件費の補正。

## 討論

◇反対◇(立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について)  
村田 桂子

この条例は印鑑証明や住民票発行の事務を、従来の役場の窓口の他、コンビニでも交付が受けられるようにするため条例を改正するものである。反対の理由とし、

第一に、このマイナンバーカード・個人番号制度が、政府による国民管理、統制に道を開く危険性が増すこと。

第二にカードの盗難・悪用による重大な、なりすましなどの犯罪が誘発されるとのこと。韓国や米国などすでに実施されている国ではこうした犯罪が横行しているという。コンビニ交付により手軽にできることになる

ことは、危険性を増すことになり、特に住民票や印鑑登録など財産の取得や処分にかかわる重大な事務であるだけに、簡便にすることがよいか疑問である。

第三に、多額の税が使われるということ。それほど利用頻度の高くない住民票や印鑑登録事務をコンビニで交付することに約2千万円超え(約2037万)の税金が使われる。高校生などの通学費補助や、給食費の無料化など、子どもたちの教育充実に使う方がはるかに喜ばれる税の使い方ではないか。

第四に、このシステムは個人番号カードの取得を前提にしているが、11月末現在、個人番号カードの取得率はまだ人口の8%であり、その危険性や取得の必要性の疑いから取得は進んでいない。僅かな普及、しかも費用対効果の薄いコンビニ交付事業は、急いで実施しなければならぬ必要性は感じない。以上、メリットよりも

デメリット、危険性や負担が多いことを指摘し、反対する。

## 賛成◇

今井 清

議案第82号は、個人番号カードを利用して印鑑登録証明書をコンビニエンスストアで自動交付するための条例改正であり、全国どここのコンビニでも24時間証明書の発行を受けられるよう利用者の利便性を図ることから賛成する。

議案第83号一般会計補正予算第6号については、高齢者共同住宅あんの水道配管工事について、水道凍結対策で緊急を有するものであり、小中学校の教育振興経費の備品購入費については、天体望遠鏡・生物顕微鏡など児童・生徒の学方向上に必要な設備である。

文化財保護経費では、笠取峠の松並木の赤松の育苗経費であり、立科町の貴重な文化財である笠取峠松並木を後世に残すため必要な対策である。以上により賛成する。

## 賛成◇

両角 正芳

12月定例会に上程された議案第82号から86号までの条例改正、補正予算について、賛成する。

立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正は、個人番号カードの交付を受けた者が利用できる共同利用型のコンビニ交付サービス事業を平成29年1月10日より開始するために必要となる条例改正であり賛成する。町民の利便性向上と将来的な役場窓口業務の効率化等が図れるよう、個人番号カードの更なる普及促進を願う。

一般会計補正予算の歳出では、町有地内の地上物件解体に伴うアスベスト除去工事費の計上、全額県費による中山間地所得向上支援や担い手確保・経営強化支援事業費の計上など、景観や環境の保全及び農業振興に係る必要事業経費の補正であり賛成する。また、28年度の重点施策である定住・移住促進に係る新築住宅補助金事業は、

当初の予想を上回る状況から増額補正するものであり賛成する。米の価格安定に寄与する施策として予算化された「ふるさと寄附金事業」は、他の自治体なども同様の取り組みがあったことが影響したのか、期待どおりの結果が得られず減額補正となったが、寄付者等が「たてしな米」は美味し

いと評価してくだされば今後、「たてしな米ファン」が増えて稲作農家支援にも繋がるものと考え賛成する。障害者福祉支援関係及び国県町費負担による未熟児養育医療給付費の増額については、福祉事業の更なる充実が図られる補正と捉え、賛成する。

特別会計補正予算の索道事業会計においては、白樺高原国際スキー場50周年、しらかば2in1スキー場40周年を記念したイベントの経費として40万円が予算計上された。少額予算ではあるが、誘客宣伝効果を期待し賛成する。なお、今回のようなイベントは、スキーシ

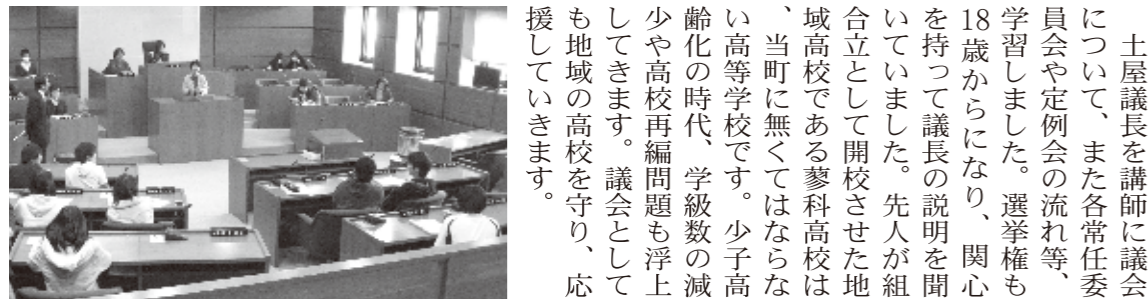
ーズン直前ではなく、年次計画時に企画立案されることを強く望み賛成する。

各議員の賛否結果 (賛否の分かれたもの) ○賛成 ●反対 ※議長は表決に加わらない。

議案番号	議案名	結果	田中 三三	瀧澤 壽美雄	西藤 努	森本 信明	榎本 真弓	村松 浩喜	両角 正芳	村田 桂子	今井 清	森澤 文王	今井 英昭
議案82	立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 蓼科高校生が授業で議場体験

12月14日、蓼科高校の3年生が「地域Ⅱ」の授業で議場体験をしました。



## 中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連盟設立

12月16日、佐久市コスモホールに於いて設立総会が開催されました。中部横断自動車道は、既に増穂インターチェンジから中央自動車道双葉ジャンクション間と佐久南インターチェンジから上信越道佐久小諸ジャンクション間が供用開始となっており、八千穂・佐久南間については29年度の開通を目指して工事が進められています。唯一、基本計画区間である長坂から八千穂間については環境アセスメントに向けた調査が進められてはいますが、この区間の1日も早い事業化と早期の全線開通により、この地域一体がさらなる発展を遂げられるよう事業促進のため地域の県・市町村155名の全議員により設立されました。



## 総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・農林課・観光商工課  
会計室・議会事務局

副委員長

村田 潤 両角 桂子  
田中 正芳 瀧澤 寿美雄  
榎本 三浩 村松 真弓  
真弓 浩喜 江喜 美雄

12月9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

### 質疑Q&A

◎平成28年度立科町一般会計補正予算について(第6号)

**Q** 歳入の国庫補助金で道路橋梁費補助金の社会資本整備総合交付金の減額は、

**A** 社会資本整備総合交付金の額の確定によるもの。

**Q** ふるさと寄附金のPRはどのように。

**A** ホームページ、ふるさと寄附金の専門サイトへの掲載の他、首都圏、近畿地方へ新聞広告の掲載をした。専門サイトのふるさとチョイスは掲載方法を検討していく。

**Q** 権現の湯の修繕費は、

**A** 施設の老朽化等、漏水や小規模な修繕、部品交換等、当初見込みより増額。

**Q** ふれあい牧場のヒツジのへい死の賠償金は、

**A** ヒツジを10頭、ヤギを3頭賃借しているが、その内の1頭。佐久市の業者への賠償金。

**Q** 中山間地域所得向上支援の侵入防止柵はどの地区で何mか。

**A** 宇山地区で2km。

**Q** 担い手確保・経営支援事業補助金、産地パワーアップ事業補助金は、

**A** 宇山に参入の事業者と十八塚の事業者に対するトレリスの設置や機械等のリース等、いずれも県の事業補助金。

◎平成28年度立科町索道事業特別会計補正予算



工事の進む町道小学校線

(第3号)

**Q** 国際スキー場50周年・しらかば2in1スキー場40周年記念イベントの内容は。

**A** スノーリゾート信州プロモーション委員会と2月25、26日を「雪の日」と定め祝日化を目指す運動をしている。それに合わせ、25日に国際26日に2in1で抽選会を計画している。PRもオンライン当初からイベント掲示板、ホームページ、各種放送媒体を通じ誘客に努めていく。

### 問 移住・定住政策について



森澤 文王

**問** 立科町の移住・定住政策には「住居がない」という問題がある。

**町長** これにより移住希望者を逃している。住宅政策をしっかりと考えて進めなければならぬと考える。町長の考えは、

本年度「子育てしやすい町づくり」と「定住・移住したくなる町づくり」を柱に事業を推進して来た。特に、定住促進については、住民の皆さんが安全で安心して暮らしていただけるため、また新たな住民を迎えるための良好な環境を整えるための取り組みを進めている。受け皿となる住宅が少ないのは事実であるが、行政だけでなく、民間の活力を取り入れながら住宅政策を進めていきたいと考えている。



立科町クラインガルテン

**問** クラインガルテンは、移住政策の施設に位置付けられてはいないが、満期の利用者にはアパートをすべきと考える。クラインガルテンは農林課、移住政策は企画課の担当。移住を促す取組は機能したのか。

**企画課長** 利用者が移住候補者であるとは考えている。現在、大学との連携事業の中でアンケート調査中である。結果を分析した中で今後のアプローチを考えていきたい。

**農林課長** 満期の利用者に対しての特別なアプローチはしていない。早期退去の利用者には、不満があつたのかなど聞き取り調査をしている。利用者の情報については、農

林課限りの情報としている。移住の成果については、定住・セカンドハウスに結びついて事例もある。

**問** 仕事が縦割りであるが、改善の必要があるのでは。

**町長** 今後は各課が連携をとっていく必要があると考える。

**問** 立科町の移住・定住政策は、今までの町全体の取り組みの成果が表れて来ていると考えている。町長の考えは、

**町長** 少しずつ成果が出ていると認識している。また、移住者だけに目を向けず、若者達が帰れる町にする施策も必要。雇用の創出も移住・定住政策に盛り込んでやっていきたい。

## 社会文教建設常任委員会

所管 町民課・教育委員会・建設課

副委員長

森本 信明 今井 春江  
西藤 努 森澤 文王  
今井 英昭

12月8日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

### 質疑Q&A

◎立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

**Q** 改定理由と開始時期について

**A** 個人番号カードを利用して、印鑑証明等がコンビニエンスで取得を可能とするため。平成29年1月10日から開始。

◎平成28年度立科町一般会計補正予算について(第6号)

**Q** 高齢者共同住宅「あらしん」の水道配管工事の理由は、

**A** 同施設の水道管は、旧徳花苑と共有しており、利用にあたり水道を分離する必要があるため。

**Q** 未熟児養育医療給付額について。

**A** 当初予算では1人分を計上しているが、年度中に複数になる場合は補正対応する。

**Q** 道路維持管理経費の用途は、

**A** 随時対応している、町道舗装の穴埋め作業の業務委託料のため。

**Q** 社会資本整備総合交付金の整備箇所と減額の理由は、

**A** 整備箇所は町道小学校線になり、交付金決定額により減額。

**Q** 町営住宅維持管理経費の修繕費の該当施設と用途及びストック計画は、

**A** 町営真浦住宅になり、経年劣化による外壁などを修理費用。ストック計画については、平成27年度に作成済み。

**Q** 松並木アカマツ育苗地整備の理由は、

**A** 松並木の松くい対策は保存を重点に行ってきた。今後はそれに追加して、松並木にあるアカマツから種を採取して継承していく。育苗場所は、隣接する菓草園を使用。

◎平成28年度立科町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

**Q** 高額医療費共同事業医療費拠出金経費の増額理由と被保険者への影響は、

**A** 国保連合会の算定誤りによる増額補正。被保険者に対する影響はない。

◎平成28年度立科町水道事業会計補正予算(第3号)

**Q** 時間外勤務手当の増額理由は、

**A** 休日出勤等に伴う時間外勤務手当のため。

### 問 21 生ごみ堆肥化事業について 地区単位の町政懇談会開催について



今井 清

**問** 生ごみ堆肥化事業の有効性は、

**町長** 循環型社会形成に向けて、生ごみ減量化により二酸化炭素の排出量を減らすことに有効。

**問** 生ごみ堆肥化に伴う処理経費は、

**町民課長** 当初費用として運搬車両やダストボックスの購入、堆肥保管倉庫新設等により1500万円ほどかかる。

**問** ごみコンポストを無料配布して自家処理する方が、経費が大幅に安く済むのではないか。

**町長** 住民の生活様式が多様化して、自家処理できない家庭が増えてきている現状から、堆肥化事業は必要。

**問** 当初計画どおり新クラインセンターへ搬入すれば、経費が年間330万円安く済む。また、今後、長和町堆肥化処理施設の維持管理・更新費用が発生しないか。

**町長** 可燃ごみの減量化を図る必要があり、生ごみの堆肥化処理は行わなければならない。また、長和町との今後の協議によるが、負担金は発生する見込みである。

**問** 住民目線で動いているか、町行政の点検は行っているか。

**総務課長** 立科町振興計画に基づき役場内部と監査委員による点検・検証を行っている。

**問** 各地区単位の町政懇談会は早急に行うべき。

**町長** 平成29年度中に計画したい。



長和町堆肥化処理施設

**問** 生ごみ指定袋が、燃えるごみの袋より単価が高いため、使用する家庭が少ないと考えるが、

燃えるごみの袋より単価が高いため、使用する家庭が少ないと考えるが、

袋の単価を下げないか。  
**町民課長** 自然に分解する特別の袋のため長和町と同価格とする。

**問** 住民の思い・想いをどうのような方法で受け止めているか。  
**町長** 区長・部落町会・町政懇談会・山前講座、各種団体の集まりなどに出席して行っている。

**問** 町民目線で動いているか、町行政の点検は行っているか。  
**総務課長** 立科町振興計画に基づき役場内部と監査委員による点検・検証を行っている。

**問** 各地区単位の町政懇談会は早急に行うべき。  
**町長** 平成29年度中に計画したい。

**結** 生ごみ堆肥化は、費用の面からも自家処理を優先するべき。町民主役の行政を進めるために、地区単位の町政懇談会開催はぜひとも必要。

**問** 28年度重点施策の成果見通しと今後の行財政運営指針は

**答** 一定の成果を得た重点施策の継続とやさしく健やかに暮らせる施策の実現



両角 正芳

**問** 「子育てしやすい町づくり」と「定住・移住したくなる町づくり」を補完する各種支援事業の実施状況と成果見通しは。

少子高齢化に即応した今後の行財政運営指針と29年度の重点施策は。

調印した自治体は、立科町は、28年7月共同から離脱すると申し出、今後は、離脱を取り消し、本稼働を行わず延期とした。1年延期するならば、経費は約2900万。14自治体の中で、既に6自治体の本稼働をしている。長和町は29年1月本稼働、残る6自治体は29年移行準備。答を出していないのは、立科町だけである。いつ本稼働するのか。

立科町は、ベンダーロックに陥っている。この状態になつていく当町は健全か。

情報システムが、特定のITベンダーに依存すると、保守契約はその1社独占となり、言い値で契約せざるを得なくなる。本来行うべき契約の際の入札は行わず、随意契約が更新されていく。

**問** 町が目指す観光地づくりとは

**答** 民間活力導入による新たな観光地づくり

**問** 観光事業推進室長が担う役割とは。

子育て支援策と定住・移住策は、一定程度の成果が出ている。教育次長 保育料の2人目半額、同時入所3人目以降の無料化など子育て環境整備を進めている。町民課長 子育て世代の妊産婦を福祉医療制度の対象者に追加した。企画課長 定住・移住促進事業や大学との連携に

者制度を始め最も有効な経営体制を探っていく。基金残高を考える。と、スキー場の再建に向け検討する時間的余裕はない。推進室長には、方向性を一日も早く導き出してほしい。

共同化負担金が高額である。現在のシステムに付いている機能が付いておらず不便である。職員の業務軽減がなされていないなど、メリットが出ていない。また、共同化事務局での積算方法に疑問が生じ、現在精査

町長からは、本稼働への明確な答弁は得られなかった。自立を継続していくことは、簡単ではない。自立の裏付けは健全財政が基本である。既に1年遅れ、血税2900万円が二重経費となっていること。将来を見据えた共同化の目的を、再認識していただきたい。

ベンダーロックとは、特定のメーカーに大きく依存し、サービス・システムなど、他のメーカーの提供する同種への乗り換えが困難になる現象のことをいう。

**町長** 通年型の複合ビジネスの取り組みや索道事業の経営改善を目的とする新経営方式への移行を担う役割。

索道事業経営改善に最も適した経営体制は。観光事業推進室が中心となり、指定管理



野方宮地ヶ丘団地

ベンダーロックとは、特定のメーカーに大きく

町長からは、本稼働への明確な答弁は得られなかった。自立を継続していくことは、簡単ではない。自立の裏付けは健全財政が基本である。既に1年遅れ、血税2900万円が二重経費となっていること。将来を見据えた共同化の目的を、再認識していただきたい。

ベンダーロックとは、特定のメーカーに大きく

**問** 立科教育とこれらに関連する現状と今後の課題は。

**答** 教育は国家百年の計の教えに基づき教育施設すべてを抱合した教育を。



森本 信明

**問** たくましく羽ばたく立科っこ教育等の所見は。

政策である子育てしやすい町づくりを目指したい。教育長 「豊かな人間性と地域振興」に手をつける。立科の子どもたちは、人間的にたくましいだけでなく、故郷を愛する人になってもらいたい。

英語教育の対応は。教育長 小学校は平成20年から、5・6年生の英語が教科化される。小学校では英語の指導方法を学んでいる先生がいな

2018年は立科町の生んだ偉人、保科の生んだ偉人、保科

五無齋先生の生誕150周年記念、町としてぜひ、盛大に顕彰活動をしてほしいが、どう取り組むのか。

年土屋隆夫先生の生誕百周年、再来年は五無齋先生の生誕150周年となる。郷土の誇りとして後世に伝えていく責任があると思う。五無齋先生は全国的にも業績が顕著であり、町としても生涯学習の一環として、何らかの関わりをもって取り組んでいきたい。

**町長** 各々の教育関係機関で自己完結していた教育理念や方針をスムーズに連動させるべく、相互の教員の交流、教育活動の関する情報の共有などに努めている。

全国学力テストの成果と科目別正当率の公表は。教育長 国県との平均点と比べて「やや上回る」とか「下回る」との表現ですべての教科について公表している。

子育て世帯の負担軽減策「小・中学卒業生への祝い金」の支援策は。

議会がこの度行なつた「町の未来を語る会」の中で、高校生の通学費が大変な負担という話が出た。多い人は一日往復2100円。月にすれば4〜5万円の負担となる。負担を軽減する制度を作るべきだが。

長和町の子どもたちは無償である。義務教育の間は無償にすべきだ。家庭の負担をなくすにはいくらか財源が必要か。

有償福祉運送事業の対象になる人は、①介護保険の認定を受けた人②身体障がい③肢体不自由・精神障害・知的障害などの障がい有する人で合計980人程が該当する。1割利用としても100人近くになる。制度を研究したい。

今ここで育っている児童生徒は元より、町外からも教育に力を入れている町ということで若い子育て世代の移住の引き金になってくれればと願っている。

自治体の中でも多くの学校を抱えるところでは市の平均点を公表している。学校が一つしかない場合は、平均点の公表をしている学校はない。平均点が必ず一人歩きしてしまうので、今までのような表現でいき

山ノ内町の話(中学卒業時お祝い金3万円、小学校卒業2万円)が念頭にあるかと。

祝金については、かなり前向きに検討したい。町の財政的にどうなのか、しっかりと踏まえた中での課題かと。

車を持たない障がい者の方への交通支援として、愛川町で行っている「お助け便」という有償福祉運送事業を当町でも取り入れたらどうか。住民の運転ボランティアの方に送り迎えして

御代田町では6000円の券の購入で1500円分のタクシー利用ができ大変利用が増えている。当町でもぜひ制度新設を。

未満児の受入れ態勢は現在、保育所運営検討委員会に諮問している。保護者のニーズにできるだけ答えて、私の基本

平均点が必ず一人歩きしてしまうので、今まで

前向きに検討をして、進めさせていただければ

因みに小中学生の家庭の負担はどれほど

教育次長 中学生は年2万3680円、小学生は6280円、保育園児は2760円のご負担をお

町長 よく検討したい。

**問** 電算システム共同の本稼働はいつか



榎本 真弓

立科町は、ベンダーロックに陥っている。この状態になつていく当町は健全か。

情報システムが、特定のITベンダーに依存すると、保守契約はその1社独占となり、言い値で契約せざるを得なくなる。本来行うべき契約の際の入札は行わず、随意契約が更新されていく。

立科町は、28年7月共同から離脱すると申し出、今後は、離脱を取り消し、本稼働を行わず延期とした。1年延期するならば、経費は約2900万。14自治体の中で、既に6自治体の本稼働をしている。長和町は29年1月本稼働、残る6自治体は29年移行準備。答を出していないのは、立科町だけである。いつ本稼働するのか。

立科町は、ベンダーロックに陥っている。この状態になつていく当町は健全か。

情報システムが、特定のITベンダーに依存すると、保守契約はその1社独占となり、言い値で契約せざるを得なくなる。本来行うべき契約の際の入札は行わず、随意契約が更新されていく。

共同化負担金が高額である。現在のシステムに付いている機能が付いておらず不便である。職員の業務軽減がなされていないなど、メリットが出ていない。また、共同化事務局での積算方法に疑問が生じ、現在精査

町長からは、本稼働への明確な答弁は得られなかった。自立を継続していくことは、簡単ではない。自立の裏付けは健全財政が基本である。既に1年遅れ、血税2900万円が二重経費となっていること。将来を見据えた共同化の目的を、再認識していただきたい。

ベンダーロックとは、特定のメーカーに大きく

共同化負担金が高額である。現在のシステムに付いている機能が付いておらず不便である。職員の業務軽減がなされていないなど、メリットが出ていない。また、共同化事務局での積算方法に疑問が生じ、現在精査

町長からは、本稼働への明確な答弁は得られなかった。自立を継続していくことは、簡単ではない。自立の裏付けは健全財政が基本である。既に1年遅れ、血税2900万円が二重経費となっていること。将来を見据えた共同化の目的を、再認識していただきたい。

ベンダーロックとは、特定のメーカーに大きく

**問** 保科五無齋生誕150周年記念事業を盛大に



村田 桂子

五無齋先生の生誕150周年記念、町としてぜひ、盛大に顕彰活動をしてほしいが、どう取り組むのか。

年土屋隆夫先生の生誕百周年、再来年は五無齋先生の生誕150周年となる。郷土の誇りとして後世に伝えていく責任があると思う。五無齋先生は全国的にも業績が顕著であり、町としても生涯学習の一環として、何らかの関わりをもって取り組んでいきたい。

**問** 高校生などへの通学費の負担軽減を

議会がこの度行なつた「町の未来を語る会」の中で、高校生の通学費が大変な負担という話が出た。多い人は一日往復2100円。月にすれば4〜5万円の負担となる。負担を軽減する制度を作るべきだが。

長和町の子どもたちは無償である。義務教育の間は無償にすべきだ。家庭の負担をなくすにはいくらか財源が必要か。

有償福祉運送事業の対象になる人は、①介護保険の認定を受けた人②身体障がい③肢体不自由・精神障害・知的障害などの障がい有する人で合計980人程が該当する。1割利用としても100人近くになる。制度を研究したい。

負担の多いことは承知している。就学援助制度の中で考えたい。

車を持たない障がい者の方への交通支援として、愛川町で行っている「お助け便」という有償福祉運送事業を当町でも取り入れたらどうか。住民の運転ボランティアの方に送り迎えして

御代田町では6000円の券の購入で1500円分のタクシー利用ができ大変利用が増えている。当町でもぜひ制度新設を。

因みに小中学生の家庭の負担はどれほど

教育次長 中学生は年2万3680円、小学生は6280円、保育園児は2760円のご負担をお

町長 よく検討したい。

未満児の受入れ態勢は現在、保育所運営検討委員会に諮問している。保護者のニーズにできるだけ答えて、私の基本

平均点が必ず一人歩きしてしまうので、今まで

前向きに検討をして、進めさせていただければ

因みに小中学生の家庭の負担はどれほど

教育次長 中学生は年2万3680円、小学生は6280円、保育園児は2760円のご負担をお

町長 よく検討したい。

**問** 観光ビジョンをどのように捉えているか



今井 英昭

**答** 第5次振興計画に沿った施策を進めていく

**問** 観光に関する第5次振興計画の進捗状況は。

**答** 観光に関する第5次振興計画の進捗状況は、自然や高町づくりの観点から今年

**問** 農林業に関する第5次振興計画の進捗状況

**答** 一部を除いて進捗は非常に厳しい。今後は、農業振興ビジョンも踏まえて施策を推進する

**問** 農地中間管理機構の活用状況と、今後の展望と課題点について。

**農林課長** 借り手側3経営体、6.8haで農地の貸し借りが成立。他にも案件はあるが、条件が合致せずマッチングができない農地もある。貸して借りて両方に有利な制度であるため、普及促進を図りたい。

**問** 人・農地プランの細分化が必要かと思う

**農林課長** 補助金事業等に取り組んでいく上でメリットがありそうなので、必要性は感じている。平成30年に予定されている減反政策の廃止に伴う影響は、**農林課長** 当町の主食用



農地中間管理機構を活用した農地

度までに策定したい。

**問** 木質バイオマスなど森林資源・水資源の利用による新エネルギーを観光に活用した「観光×環境」の観光地づくりはできないか。

**町長** 担当課と広く情報収集して、補助制度を使用したい。また森林資源を有効に利用することは、環境に配慮した研究をしながら、取り組めるところから進めていきたい。

**問** 米の生産数量は増えると思定している。

**農林課長** 各種団体と連携しながら支援をしている。新規就農者及び認定農業者へのサポート

**問** 1 住民の環境や要望に配慮し、住み良い町づくりを  
2 広告媒体を見直し、自主財源の確保を



村松 浩喜

**問** 本定例会の招集挨拶で町長は、来年度の予算編成の重点指針に「誰にもやさしく健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり」を加えると発言した。どのように取り組むか。

**町長** 町長就任以来、できるだけ地域や各種団体の集いに足を運び、町民の声を聞いてきた。その結果、この指針を掲げることにした。現在、各課で施策を検討中だ。

**問** 住民からの意見や要望のうち、公共性が高い回答は、広報紙やホームページに掲載したり、閲覧板で伝えればどうか。

**総務課長** 除雪の件など広報紙に掲載した前例はある。ホームページ等で回答を一覧できるように

方法は検討したい。

**問** 地域担当職員が16の区に配置されている。現状と対策は。

**企画課長** 地域担当職員は正職員全員が務める。担当区に居住、又は出身である職員を充てるが、その条件に当てはまらない場合もある。主な業務は、役場から町民への配付物のお届け、防災訓練への参加など。担当職員との関わり方は地区により異なる。今後は区長、部部長の意見も伺い、制度の活用を考えたい。

**結** マンパワーの他、高齢化率や児童の人数など、各区毎のデータを整理、分析することで、よりきめ細やかな住民サービスの向上に役立つと思うので検討してほしい。

**問** 15戸のクラインガルテン使用者は、最長5年を限度として立科町での暮らしを体験してい

**結** 例えば、毎年9800枚印刷している納税通知封筒や事務封筒、窓口封筒など、封筒類は広告を募りやすいと思う。各種媒体の広告利用について、町内外の企業等に案内するべきだ。

る。使用者と当町の相互理解を深め、契約期間満了後の移住定住にも結びつけるため、町民向けの広報印刷物等を提供すればどうか。

**農林課長** 今年9月の町民向け配布物から、「広報たてしな」などを住所地に郵送している。観光ガイドブックも送る予定だ。

**問** 当町は、平成22年に広告掲載取扱要綱を定めた。自主財源を確保する手段として有効だが、広告利用の実態は。

**総務課長** これまでの利用実績は「広報たてしな」のみ。公式ホームページ、封筒、公用車なども広告媒体として定めてあるが、利用されていない。

**結** 0枚印刷している納税通知封筒や事務封筒、窓口封筒など、封筒類は広告を募りやすいと思う。各種媒体の広告利用について、町内外の企業等に案内するべきだ。

**問** 上田市 佐久市との  
定住自立圏協定の検証と課題



西藤 努

**問** 上田市との協定分野の検証と課題は。

**企画課長** 福祉、教育、環境、地域交通、人材育成の協定。保育職員研修、地域施設有効活用、松食い虫防除対策、サンマル交通(30分)構想推進、特に図書館相互利用促進は効果が大きい。

**問** 佐久市との協定分野の検証と課題は。

**企画課長** 保健、医療、福祉、学校教育、産業振興、環境、防災、地域交通強化、情報、定住交流促進、社会教育、人材育成。すでに、佐久広域連合の枠組み事業と重なっている為、特筆はない。

**企画課長** 上田市では、結婚支援、長野大学との連携、移住促進、企業立地促進、上田地域産業展支援、ワイン等の地域ブランド創出。佐久市では、ICT教育推進、6次産業推進、交通インフラ整備。第2期協定は作業部会でKPI(成果目標)を設定。

**問** 両市第2期協定ビジョンの公表は。

**企画課長** 定住自立圏生ビジョンについては、ホームページで公表したい。

**問** 名誉町民「土屋隆夫」先生、  
生誕100年について

**答** 来年1月、生誕100年の  
記念事業を考えている

**問** 立科町の文化人。日本ミステリー文学大賞、日本推理作家協会賞、第41回直木賞にノミネート、多くの小説を世に送り、日本文壇にその功績を残し、生涯を当町で執筆活動をされたことは、立科町の誇りである。名誉町民第1号でもあり、立科町として、記念事業

等の考えは。  
**教育次長** 日本文壇に多大な功績を残された先生は、高い評価と、その作品は数々の映画化やテレビドラマ化がされている。今後、映像化作品の上映会、公民館図書室に先生の特別コーナーを設け、多くの皆さんに触れる機会を考える。

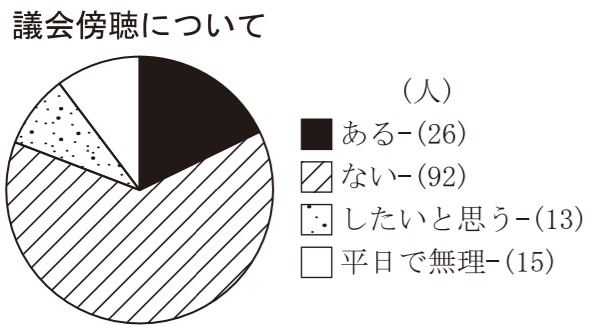
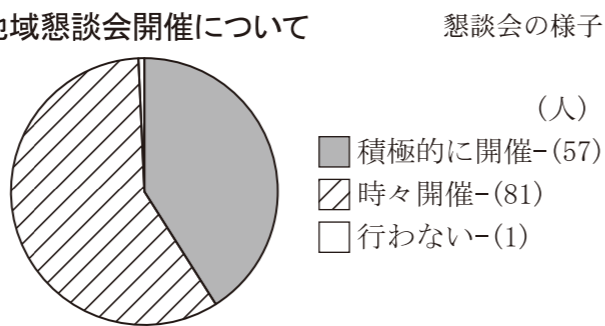
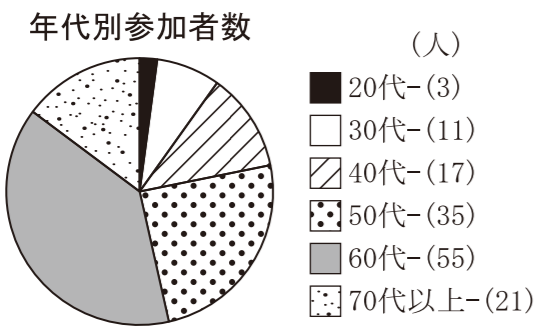
議会地域懇談会「町の未来を語る会」 町民の皆様の声を町政に！

ご参加大変ありがとうございました。

10月24日～11月1日にかけて、町内16会場で開催した議会地域懇談会「町の未来を語る会」では、169名の町民の皆様にご参加いただきました。



懇談会の様子



12月27日に、土屋議長・田中副議長より米村町長へ意見・要望に対する回答を依頼。

# 議会の動き (主なもの)



平成28年

10/20 第5回臨時議会

10/24～11/1 地域懇談会「町の未来を語る会」

町内16会場で開催

11/7 定例全員協議会

11/8 全国町村議会議長大会（東京）

11/11 社会文教建設常任委員会

11/17 総務経済常任委員会

佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町議会  
合同議員研修会



11/18 議会運営委員会

11/22 R142・254期成同盟会総会・県要望

11/30 冬山開き



12/2～13 12月定例議会

12/15 観光地域づくり研修会



12/16 中部横断自動車道建設促進佐久地域議員連  
盟設立総会

12/22 佐久広域定例会

平成29年

1/6 賀詞交歓会



1/11 消防出初式



1/16 第1回臨時議会

## 議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)56-2311 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL http://www.town.tateshina.nagano.jp

### 編集後記

昨年、教育委員会が開催した「手書き地図作り」・企画課が開催した「移住コンシェルジュ養成講座」・観光商工課が開催した「観光地域づくり研修会」に参加しました。担当課も内容も違ってはいる企画でしたが、参加して感じたのは、「立科町が好き」という気持ちをはっきりしていないと掘り下げて行かない。という事でした。

いかに町をPRするか。地元を誇りを持つか。など少々難しい話では、理屈が先行してしまいがちですが、単純に「好き」という気持ちを確認して行くには、何をして行けば良いのでしょうか。

今後の町の活性化のためにはどうしても必要な課題となると思います。町民の皆様のご協力を頂きながら、その答えを探して行きたいと考えております。

森澤 文王

○今後とも「議会だより」をご愛読下さい。  
議会だより編集委員会

村田 桂子 森澤 文王  
村松 浩喜 両角 正芳  
今井 清 今井 英昭